



労使 未来への妥結

第5回総務部長交渉 労使合意内容（6月5日）

- ▼協力割合は、組合員平均4.5%、期間は2019年3月までとすること。
- ▼災害に起因する財源不足を人件費で補填するような不合理提案は二度としないこと。
- ▼全職員に対して、財政状況、財政再建に向けた説明責任を果たしていくこと。
- ▼事業の見直し、人員の再配置や部局マネジメントのあり方の再検証、業務のスリム化を実施し労働条件の向上をめざすこと。
- ▼今後、業務の見直しについて、組合提案に対して労使が協議する場を設けていくこと。
- ▼人事院勧告については、労使協議の上、前向きな検討を行うこと。

長い闘争期間に不安を感じた方もいるかと思いますが、6月5日に行われた5回目の総務部長交渉で、市職労は、これまでの当局提案から大きく引き下げた、組合員平均4.5%の回答を引き出しました。また、秋に予定される人事院勧告についても、労使協議の上で前向きに検討すると回答を得ました。

これを受けて、執行部全体の意思を確認し、「妥結」（終結）できたことには納得しています。

当初の当局提案であった「災害による財源不足への人件費補填」「全職員10%カット」の白紙撤回を求め、県内の自治体、自治労県本部、連合福井など、多くの働くなかまとの団結のもと、この賃金闘争を展開できたことは大きな成果だったと思います。

一方で、今後の福井市の財政再建に関しては、市民サービスに影響が出るとされる中、その影響を少しでも小さいものとしていくために、私たち組合員一人一人が自分の業務の中でできることからやっていくべきと考えています。そういった意味でも、上記にある労使合意内容を踏まえた妥結は意義のあることだと思います。

本闘争は全国ニュースでも報道されたこともあり、全国から注目を浴びています。ピンチをチャンスに変えていくために、この注目を活かして、組合員は前を向いていきたいと思っています。

そして福井市政のブランドイメージをより強く、新しいものとするため福井市職員一致団結して取り組みましょう。



6/8（金）組合員全員集会に是非参加を

日時：6月8日（金）18:00～18:40(予定)

会場：企業局大ホール

内容：妥結までの経過 他

編集後記（野田）

今回の闘争で速報号外12号まで発行しました。失礼な表現や厳しい見解も書かせていただきましたが、執行部の熱い想いとして受止めご了承ください。